

シドニー派遣を終えて

名古屋市立山田高等学校 3年 松本味優

1. 私の研修の目標

私は幼いころから両親の影響を受けて、英語に触れて生活してきました。そのため、物心ついた時から英語や外国の文化に興味を持つようになりました。そして今回このような機会があり、海外派遣に応募しました。

高校卒業後、外国語系の大学への進学を考えています。大学では、留学をして英語や外国の文化について多くのことを学びたいと思っています。

そして、海外派遣に参加することによって、外国の文化について学ぶと同時に、たくさんの方に、日本について興味を持ってもらいたいという目標ができました。

2. 事前の準備

日本・名古屋の紹介やオーストラリアの生活・文化について班に分かれて調べ、ファイルを作成しました。個人としては、ブルーマウンテン、ジャンパルー、シドニーでは微妙に気候が異なっているので、持参する服に気を付けたり、オーストラリアの男性はよくスラング語を話すと聞くので、ホームステイの際に会話できるよう少しスラング語を学んだり、ホストファミリーの方へのお土産を用意したりしました。

3. シドニーでの体験

研修期間中に、3つの学校を訪問しました。どの学校にも日本語の授業があり、みんな積極的に授業に参加していました。生徒は、1人1台のパソコンを使って授業を受けていました。先生が質問すると、みんな積極的に発言し、各自が意見をしっかりと持っているという印象が強かったです。

班別行動では、シドニーの有名な場所へたくさん行きました。イギリスの植民地であったからか、イギリスのような街並みが多く見えました。

フェリーに乗って、オペラハウスとハーバーブリ

ッジを見学しました。ちょうど日没の頃だったので、とても綺麗な景色を近くで見ることができました。今まで見てきた中で一番の景色を見ることができました。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

もともと英語を話すことが好きでしたが、実際に海外に行くと恥ずかしくて話せなくなってしまうことがよくありました。しかし、今回の海外派遣では自分から積極的に話すことができました。英語でのコミュニケーション力はかなり高くなったと感じています。

また、短期間ではありましたが、英語を使った生活を通して英語力もかなり上達しました。

<課題>

今回の海外派遣で、オーストラリアの多くの学校は日本語の授業があることがわかりました。しかし、選択授業なので他の授業に比べて、それほど多くの人数がいけないことも分りました。日本人として日本の事を多くの外国人に知ってもらいたいと強く思いました。そのためには、私自身がもっと日本や名古屋について学び、自信を持って日本を紹介していけるようになりたいと思います。

また、若者と接する機会が多かったのですが、若者語を理解出来なかったのが、若者語について学びたいと思います。



訪問校での授業風景